

総選挙 金権腐敗政治ただす 日本共産党の躍進!

／ 広げてください ／ この人たちを国会へ

比例代表近畿(定数28) 「比例は日本共産党」



元参議院議員(参院1期)
たつみコートロー(47新)



党京都府副委員長
堀川あきこ(37新)
京都2区重複



前衆議院議員(2期)
清水ただし(56前)
大阪4区重複



党兵庫県常任委員
こむら潤(48新)
兵庫8区重複

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と政党名を書きます
小選挙区は「**候補者の名前**」で

衆議院比例代表は政党名で投票します。参議院と違い個人名は無効です。



小選挙区・京都3区 伏見区・向日市・長岡京市・大山崎町



西山のひび

衆院京都3区代表
にしやま

「声を聞き、ともに動き願い実現まで全力」

20年前の学生時代から教育無償化をめざして運動してきました。高すぎる学費の負担、就職氷河期など経験した世代が子育て・介護の負担も苦しくなっている——今や全世代にかかわる問題で、がんばりたいです。

京都では住民と党地方議員が力を合わせ、さまざまな要求を実現してきました。北陸新幹線延伸ストップ、暮らしを守る政治の実現へ、国会にも議席を増やしましょう。



国に要請する西山3区代表

／ 西山のふびでのSNSはこちら／

YouTube



LINE



X



JCPサポーター京都
公式LINE
ができました



無料

魅力いっぱいコンテンツを発信
どこより早いイベント告知

トークで気軽にご相談・問い合わせください

プロフィール：1986年、京都生まれ。37歳。党伏見区副委員長。立命館大学文学部卒業。京都府学生自治会連合委員長、京都民報記者を歴任。2019年4月の府会議員選挙(伏見区)で当選し、1期務める。



伏見区・向日市・長岡京市・大山崎町版
発行：日本共産党京都府委員会 2024年7・8月号外
〒604-0092 京都市中京区丸太町新町角大炊町186 TEL 075-211-5371
日本共産党京都府委員会は、上記の見解を発表いたしましたので紹介します。

「しんぶん赤旗」日刊・日曜版・京都民報を
ぜひお読み下さい 申込みはもよりの党事務所まで

ひどい政治を変えるには どうする？

解決策を提案して、国民の願いで一致する政党・団体・個人と共同して政治を変えるのが**日本共産党**です。



日本共産党委員長

田村智子

怒 国民に物価高、増税 自民党は裏金づくり“脱税”



岸田首相も
パーティーで企業に依存。
5年で37回、
6億5千万円超

共産党「しんぶん赤旗」が
連続スクープ

40兆円規模の「経済再生プラン」

恒久施策

消費税の5%への減税	14.0兆円
賃上げ、正規雇用	1.9兆円
社会保障の充実	3.8兆円
教育費負担軽減	4.2兆円
計	22兆円 (重複分を除いて)

緊急に

最低賃金引上げのための 中小企業支援	10兆円
奨学金返済負担の半減	5兆円
中小企業の過剰債務対策 飼料・資材等の高騰対策	3兆円
計	18兆円

財源

大企業の法人税 28%に戻すなど	9.1兆円
大株主の優遇やめ 最高税率の引上げなど	2.3兆円
富裕税などの創設	3.2兆円
軍拡予算・原発・ 政党助成金などの削減	7.4兆円
計	22兆円

大企業の 内部留保課税 (5年間)	10兆円
「防衛力強化資金」の取り崩し 一時的な国債増発	8兆円
計	18兆円

大企業からの献金を
1円も受け取らない政党だから実行できます。

めざす未来社会は？

「人間の自由」 花開く社会

貧富の格差、気候危機など、資本主義社会がかかえる矛盾を乗り越え、人間の自由が豊かに保障され、花開く社会こそ、日本共産党がめざす社会主義・共産主義です。

○ 利潤第一主義から 自由

個々の資本家の手にある生産手段を社会の手に移すことによって、生産の目的・動機が資本の利潤の最大化でなく、社会と人間の発展にかかわります。

○ 労働時間短縮で全 面的発展へ

労働時間が抜本的に短縮され、自由な時間が十分に増えて、すべての人間が自分の能力を存分に発達させることができるようになります。

○ 発達した資本主義の 巨大な可能性をいかす

旧ソ連や中国と違い、資本主義時代に獲得した高度な生産力や、経済を社会的に規制・管理するしくみ、自由・民主主義・人権・個性が引き継がれ、開花されます。

平和なアジア

○ **すでにある「平和の枠組み」を強める**
米中の覇権争いが強まるも、いま必要なのは、米中をふくめた「平和の枠組み」をつくることです。軍事対決のエスカレートではありません。

○ **あらゆる紛争を話し合いで解決**
お手本がASEAN（東南アジア諸国連合）に。「紛争の平和的な解決」を義務づけた友好協力条約をむすび、東南アジアを「分断と敵対」から「平和と協力」の地域に変えてきました。

○ **米中日をくわえた「東アジアサミット」で**
この「平和の枠組み」を東アジア全域に広げる——いまASEANは、米国、中国、日本などをふくむ「東アジアサミット」を毎年ひらき、東アジア規模での友好協力条約をめざして努力しています。

○ **憲法9条生かした平和外交こそ**
9条をもつ日本がやるべきは、ASEANと手を携えて、「東アジアサミット」を「平和の枠組み」として活用・強化する平和外交にとりくむことです。